

実験の実務：実験を効率化して確実に 成果を生む実験ノート(記録)の書き方

◆日時：2026年01月19日(月) 10:30～16:30

◆会場：【WEB限定セミナー】※在宅、会社にながらセミナーを受けられます

◆聴講料：1名につき55,000円(税込、資料付)

※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。
通常1名様申込で55,000円(税込)から49,500円(税込)へ割引になります。

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

●講師：ジャパン・リサーチ・ラボ 代表 博士(工学) 奥村 治樹 氏

研究開発においては、実験方法を考えることだけでなく、知財化も想定したデータ等の情報の取り扱い、すなわち、記録が極めて重要なものとなります。加えて、チームや社内における情報共有のためにも記録は必要不可欠と言えます。また近年は様々な機器類の発達で実験データを得ることが容易になってきている反面、日々増えていくデータに溺れてしまっている状況が生まれています。しかし、残念ながら大部分の企業、開発現場ではこういった記録の残し方、特に重要な実験のノートの書き方などの実験実務に関する体系的な教育はほとんど行われていません。そのため、各自が我流の方法に頼っており、人員間、部署間でのバラつき、共有性の欠如といった問題、そして、最悪の場合には情報の損失というような状況まで生まれています。本セミナー、このような状況を打開して、確実に結果を成果へと昇華させる、より効率的な開発を実現するために必要となる、実験の記録とまとめ方を、基本から様々なケース、対象について、特に実験記録の基本かつ代表である実験ノートに重点(大幅改定して拡充)を置いて詳細に解説します。

解説する内容の理解を深め、実務に活かすために要所で演習を行います。

1. イントロダクション

実験ノートがなぜうまく機能しないのか、書けないのかについてイントロダクションとして整理します。

- 1-1 実験と開発 1-2 なぜ実験ノートがきちんと書けないか
1-3 必要な前提 など

2. 実験ノートの基本

具体的な実験ノートの書き方を学ぶ前に、最低限理解しておくべき実験ノートの基本と記録という観点における注意点やポイントについて解説します。

- 2-1 典型的なダメな実験ノート 2-2 実験ノートとは
2-3 実験ノートの目的・役割 2-4 実験ノートで区別
2-5 実験構造の記録 2-6 情報(書くこと)の条件
2-7 実験の進め方 2-8 データと解析の記録
2-9 その他の記録 2-10 実験の絶対的タブー など

3. 実験ノートの役割と条件(要求)

実験ノートに書くこと、書き方を理解するために、実験ノートが果たすべき役割と、そのために実験ノートに要求されることを整理します。

- 3-1 実験のベースを記録 3-2 実験ノート・記録の使い方
3-3 実験ノートの役割 3-4 実験ノートに求められること など

4. 実験ノートに書くこと・書き方

具体的に実験ノートに何を書けばよいのか、それらをどのように書けばよいのかについて解説します。

- 4-1 基本 4-2 何を書くか
4-3 どう書くか 4-4 実験ノートに書くこと(項目)
4-5 実験前に書くこと 4-6 実験手順の書き方
4-7 実験中に書くこと 4-8 実験後に書くこと
4-9 定性的情報、状態情報の記録 4-10 書くことに迷ったら など

5. 実験ノートの書き方実務

実際に実務の中で実験ノートを書くときに、躓くポイントを踏まえながら、実際にどのように実験ノートを書いて、運用していくのかについて解説します。

- 5-1 書き方のルール 5-2 写真の活用方法
5-3 リアルタイム 5-4 最初の1ページ
5-5 実験テーブル 5-6 時系列の記録
5-7 データ・情報の整理、保存 5-8 名前の付け方
5-9 電子データの取り扱い 5-10 修正・削除・加筆
5-11 あるべき一つの姿 5-12 フォーマットを作る時の注意
5-13 ページの使い方 5-14 実験ノートの保管と管理 など

6. 実験ノートの例

実際の実験ノートを含めて、実際の実験ノートのイメージを紹介します。

- 6-1 偉人の実験ノート 6-2 ノートの例 など

7. 実験ノートの失敗例と対策

実際に合った失敗例を紹介すると共に、そのような失敗をしないために必要なことを解説します。

8. 今後の流れ

電子実験ノートを中心に今後の実験ノートの進む方向、導入に際しての注意点、ポイントを失敗例等を交えながら解説します。

- 8-1 電子化 8-2 実験ノートと電子データ
8-3 電子実験ノートの分類 8-4 実験ノート電子化の失敗例
8-5 本質的懸念点 8-6 まず必要なこと
8-7 まずやるべきこと など

9. まとめと質疑

『実験ノート【WEBセミナー】』セミナー申込書

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

☐ Eメール ☐ 郵送

● Webセミナーの受講申込みにについて ●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたしまして、別途視聴用のURLをメールにお送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしていませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>